



明日、2学期の終業式を迎えます。2学期は学習発表会やマラソン大会等の多くの学校行事を通して、児童は随分と成長しました。保護者の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

## 働くということ…

(校長講話 概要版)

「働く」ということは、どういうことなのでしょう？ 一体何のために働くのでしょうか？ 「お金をかせぐため」「生活するため」「家族のため」など、どれも正解だと思います。



広島県警察音楽隊によるドリル演奏

校長先生は「働くということ＝人に喜んでもらうこと」と考えました。

12月6日の親子学習では、「広島県警察音楽隊」の素晴らしい演奏を鑑賞しました。特にドリル演奏で楽器の素敵な音色とともに、笑顔で旗をふりながら見事な行進をされました。警察音楽隊の仕事を通して、私達を感動させ、喜ばせてくださったのですね。

先生達もみなさんが、勉強がわかって喜んでもらえるように仕事を頑張っています。毎日食べている給食も、子供達がおいしいと喜んで食べてくれるようにと願って、給食調理員の方が心を入れて一生懸命作ってくださっています。テレビや車等の物を作る人や、それら売る人も、働いている全ての人達は、人々に喜びや幸せを与えられるように頑張っているのだと思います。

働くということ＝人に喜んでもらうこと  
⇒笑顔＋感謝(ありがとう)

みなさんは、まだ働くことはできません。しかし「人に喜んでもらうこと」は今からでもできます。「あいさつをしっかりとる」「人に親切にする」「人の良いところを見つける」「人の話を聞いてあげる」など、いろいろあります。特に「笑顔」と「感謝(ありがとう)」は、人に喜んでもらうために一番大事なことではないでしょうか。人に喜んでもらえることができると、大人になってもしっかりと働くことができると思います。

### 【児童の感想より】

私が一番心に残っているのは、ドリル演奏です。きれいな音色と皆さんの笑顔で幸せでした。交通安全に気をつけて登下校しようと思います。

そして私はフルートを試してみたいです。なめらかで美しい音が出ていて、すごくあこがれます。(6年児童)

私が一番心に残ったのは、ドリル演奏です。楽器をふきながら、行進していて、ぶつからないし、きれいにならんでいたので、「すごいなっ」と思いました。私もふいてみたいと思いました。(3年児童)

最後のドリル演奏で、音と体を組み合わせたところです。私はダンスに目がいききました。旗を持って、回したり、投げたりしていました。ずっと笑顔で美しく、演奏者にぶつからないように行動してすごいなと思いました。(4年児童)

昨年度、大いに盛り上がった「校内百人一首大会」を、今年度も1月に開催します。

今年度は、全校児童に「五色百人一首一覧表」(「覚えた」「お気に入り」チェック入り)の冊子を配付しました。この冬休みに、遊びながら覚える練習をし、1月の「校内百人一首大会」に臨んでほしいと思います。(低学年は自由参加です)



**みんなが熱中！ みんなが仲良く！**

## 校内百人一首大会

百人一首遊びは、札を取りたいから覚えようと、繰り返し唱えることで、「五・七・五・七・七」という伝統的な和歌のリズムや言葉の美しさといった日本の古典文化を自然に感じとることができます。

1000年の日本の歴史をつなぐ、とても壮大な遊びといえるでしょう。昨年度のように、今年度も「校内百人一首大会」で、大いに盛り上がってほしいものです。



校内百人一首大会 (昨年度)

「五色百人一首」とは、100枚の百人一首の札を、青、ピンク、黄、緑、オレンジの5色に分けたものです。1グループ20枚で、色ごとに1ゲーム20首で楽しめます。1ゲームは約3分間でできるので、子供達は休憩時間や国語の授業始めに楽しんでいます。子供達が熱中し、楽しいクラスづくり・学校づくりに最適です。

## 百人一首の教育効果とは？

### 1 聞く力や集中力が高まる

百人一首は、読み上げられた札を取るというゲームで、いわゆるカルタの一種です。しっかり聞いていないと、札が取れないので、聞き取る力が鍛えられます。しっかり聞き取るためには、集中しなければいけないので、自然と集中力も鍛えられます。

### 2 国語力が大きくアップする

百人一首というゲームを何度も繰り返しているうちに、自然と言葉の響きやリズムに親しむことができます。また、百人一首の音読や暗唱によって脳力が伸びるので、国語力がアップします。生活態度まできびきびと活発になるという効果もあるそうです。小学校のときに百人一首に触れておくと、中学校の古文の授業も理解しやすくなります。

### 3 友達や家族との触れ合いが増える

新庄小学校では昨年度、「百人一首」ブームがわき起こりました。学級や他学年の友達と一緒に百人一首をすることで、男女関係なく触れ合い、さらに仲が深まりました。

冬休み中、家族で百人一首遊びが可能でしたら、やってみられるとよいと思います。低学年では意味にはこだわらず、一種のかかるた遊びとして、家族で触れ合っていたくといいいのではないのでしょうか。



2月には「けん玉大会」を予定しています。けん玉は脳の活性化にも効果があるそうです。運動感覚やバランス感覚も鍛え、集中力も高めると言われています。また、「技ができた！」という達成感を味わうことで、自己肯定感のアップにもつながります。

3月には「縄跳び大会」も行います。冬休みには「百人一首」「けん玉」「縄跳び」などにしっかり親しんでほしいと思います。

よいお年をお迎えください